

沖縄の魅力

— 未来をつくる企業 — 358

長引く痛み に新治療法

昨年9月は開院し、肩や膝関節の長引く痛みの治療に掛ける「さくがわクリニック」(浦添市)がわくりニック(浦添市)。

新しい治療である「運動器カテーテル治療」を県内でもいち早く取り入れて、院長の佐久川貴行さん(40)に長引く痛みの原因や同治療法の特徴について聞いた。

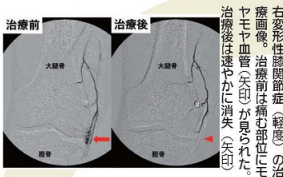
◇ Q 治療法の特徴は？
◇ A 当院では五十肩や二ス・ゴルフ肘、ハートマン結節、変形性膝関節症などさまざまな疾患に、運動器カテーテル治療を行っています。直径1mmほどのチューブ(カテーテル)を使い、血管を経由して患部に投薬

することで、痛みの原因になっている異常な血管「モヤモヤ血管」を閉じることが特徴です。

◇ 長引く痛みのあるところには異常な血管ができていることが分かっています。通常の血管(ほ真なり、ほやと)と違って見ると、どこからモヤモヤと出て呼ばれています。40歳以上になるとモヤモヤ血管を自然治療する力が衰えていくため、長引く痛みが生じやすくなります。10〜30代でもスポーツや仕事で負荷をかけた過酷な部位にはモヤモヤ血管ができています。

◇ この治療は、体への負担が少なく日帰りでできます。治療後少しづつ痛みが改善していくので、3カ月ほど治療の経過を定期的な回通院します。患者さんから「おちつきな治療受けて痛みが、1〜3カ月で良くなった」とおっしゃいます。

◇ 開院のきっかけは？
◇ A 私はがん治療や交通外傷の緊急止血などさまざまなカテーテル治療を経験しましたが、専門医学会での治療者と出会い、画期的な治療法だと感銘を受けました。これまで培ってきた経験を生かして長引く痛みに悩む患者さんに貢献できるのではと考えました。



右変形性膝関節症(股関節)のモヤモヤ血管。治療前は痛む部位にモヤモヤ血管(矢印)が見え、治療後は速やかに消失(矢印)。

◇ Q 診療で気をつけていることは？
◇ A 初診は時間をかけて患者さんの話を聞きます。その人に合った治療法を導くために、痛みはなぜ起るために、痛んだ治療とどういった時に痛むのかなど詳しく聞き、触診・超音波検査でモヤモヤ血管の状態を確認します。それから治療のメリット・デメリットを説明します。

◇ この治療法を鎮痛薬や外科手術などの従来の治療法に加え、もう一つの選択肢として利用していたけれど、ぼんやりと長引く痛みで悩んでいる方の日常生活がより良くなる方を目指してはいます。長引く痛みができれば幸いです。そのためにも多くの人にこの新しい治療法を知ってもらいたいと思います。



「治療の際はカテーテルを入れる部位に局所麻酔をし、痛みもほとんどありません。時間30分から1時間ほどです」と、さくがわクリニックの施設で説明する院長の佐久川貴行さん。

さくがわクリニック

院長 佐久川 貴行 さん

県内初の専門院 日帰りで施術

開業者の奥野祐次医師の多くは診察に携わり、多くの患者さんの痛みの改善を目の当たりにしました。医師は東京にありましたが、中には沖縄から治療に来る方もいました。この治療を

初診料を半額の3850円に



同院は、読者への特典として初診料4700円を半額の3850円にします。期間は2月26日まで。来院前に「ほ〜むぶらざを見て」と予約を。